

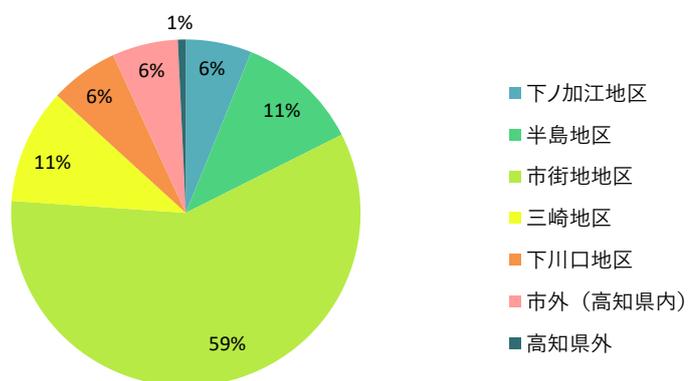
# 2020 年度 土佐清水ジオパーク構想アンケート結果

## アンケート概要

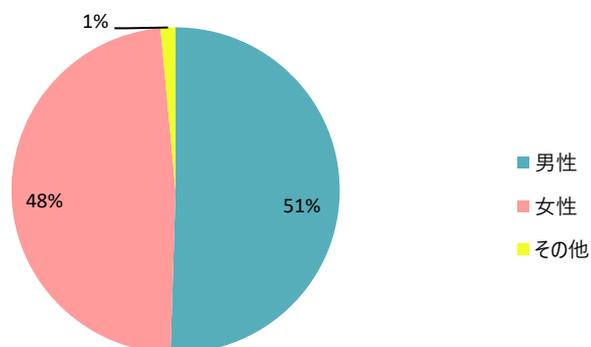
実施期間 令和 2 年 11 月 30 日～12 月 25 日  
対象 協議会会員、一般住民、高校生、中学生  
回答数 410

### 1. あなたご自身のことについてお伺いします。

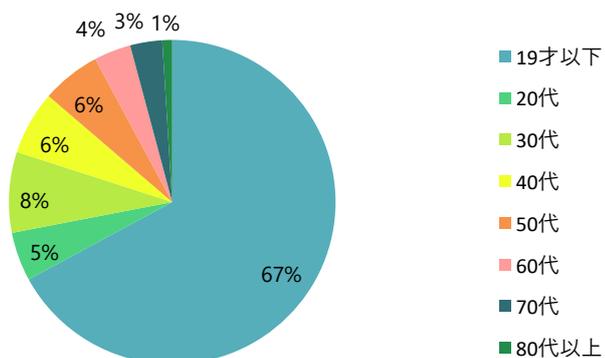
#### 居住地



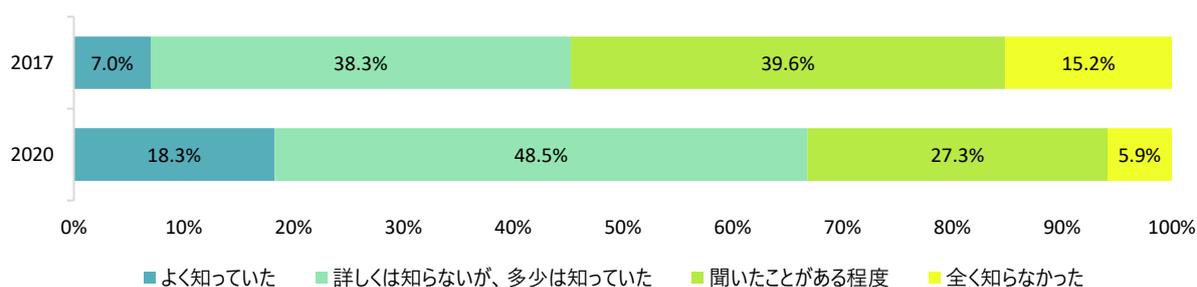
#### 性別



#### 年代

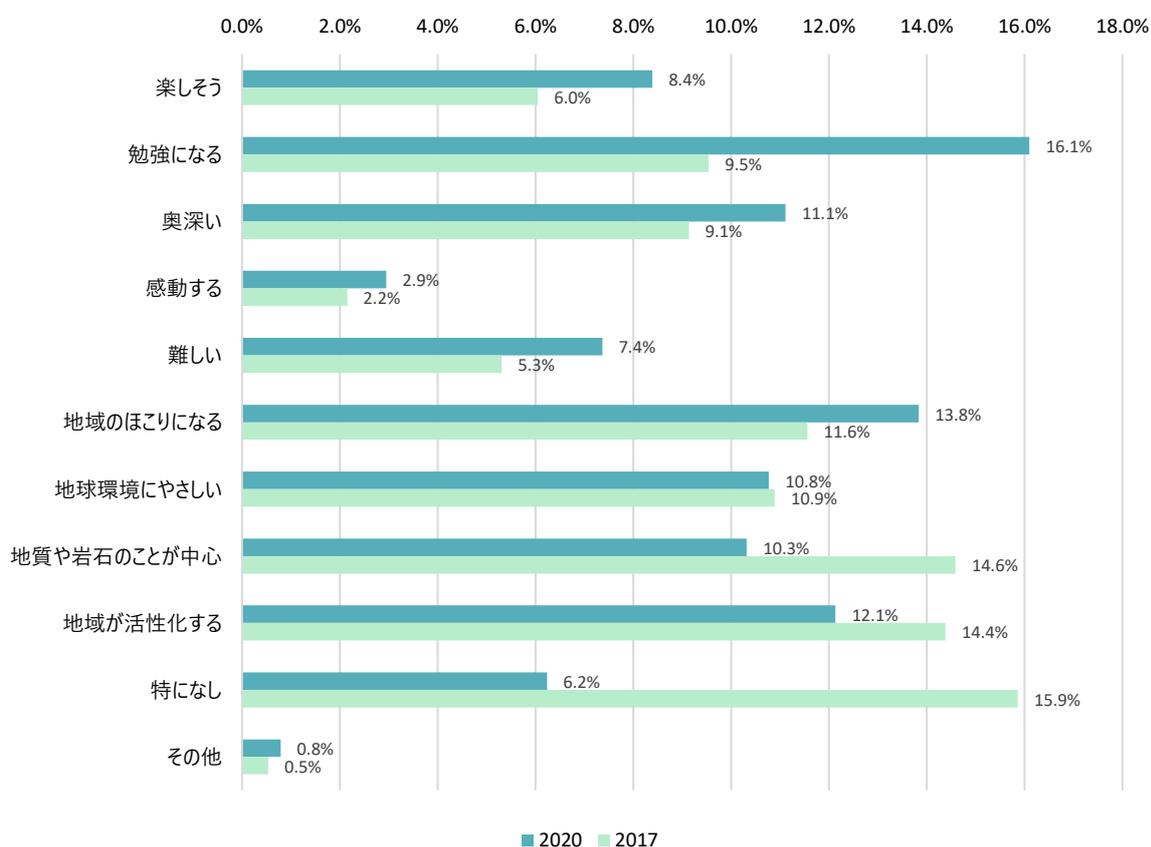


## 2. あなたはジオパークについて知っていましたか。



▼「よく知っていた」18.3%（前回比：+11.3pt）「詳しくは知らないが、多少は知っていた」48.5%（前回比：+10.2pt）と回答した人が66.8%となっており、ジオパークを知っている人の割合が21.5pt 増えている。

## 3. あなたはジオパークについてどのようなイメージをお持ちですか。

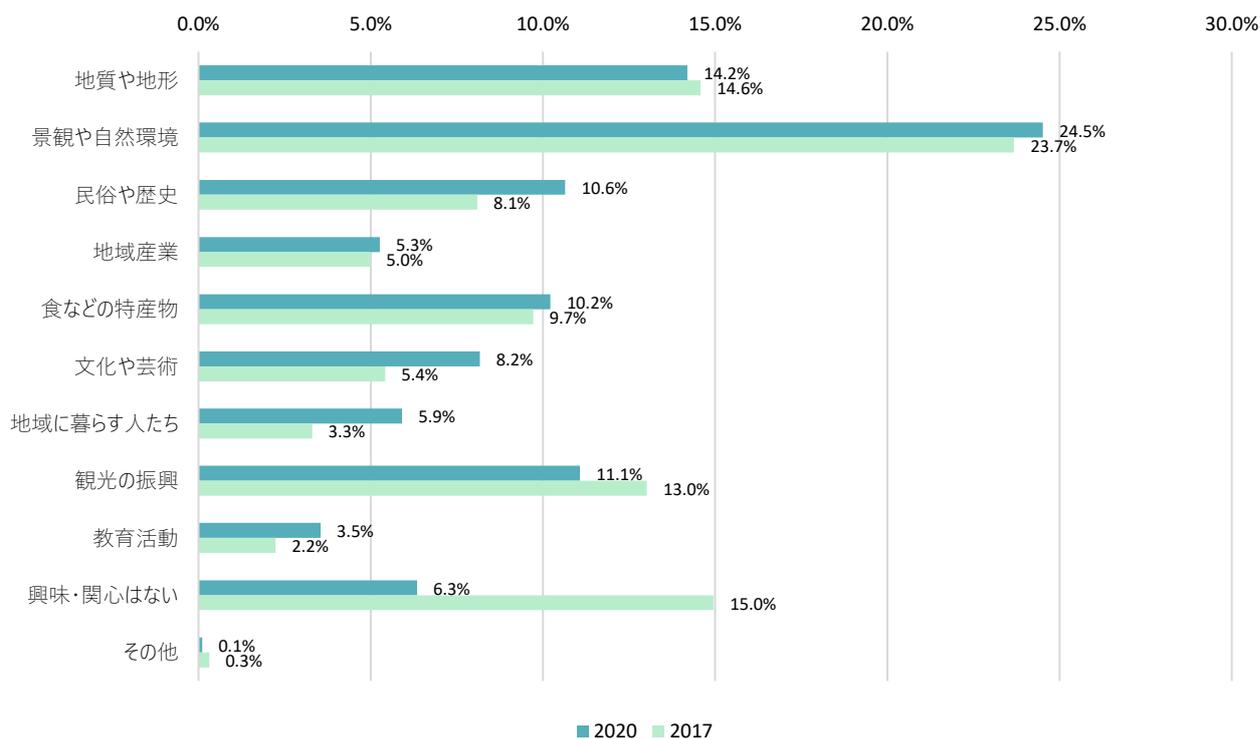


### その他の意見

- ・ お金がかかる
- ・ 自然豊か
- ・ 地域の資源を大切に活用すること
- ・ いろんな事を感じ取ったり、過去や未来を想像することのできる場所
- ・ つまらない、たまにキレイ。
- ・ 清水じゃ認定されないと思う

▼前回より割合が増えた項目が、「楽しそう」8.4%（前回比：+2.3pt）「勉強になる」16.1%（前回比：+6.6pt）「奥深い」11.1%（前回比：2.0pt）「感動する」2.9%（前回比：+0.8pt）「難しい」7.4%（前回比：2.1pt 増）「地域のほこりになる」となっており、ポジティブな言葉が目立つ。かわりに「地質や岩石のことが中心」10.3%（前回比：-4.3pt）「地域が活性化する」12.1%（前回比：-2.3pt）は減っている。また、「特になし」は6.2%（前回比：-9.6pt）と大幅に減っておりジオパークが住民の間に広がり、何かしらのイメージを持っている人が増えていることがわかる。その他の意見には「お金がかかる」「清水じゃ認定されないと思う」といった厳しい意見も見られた。

#### 4. ジオパークが扱う内容について、あなたが関心のあるものを教えてください。

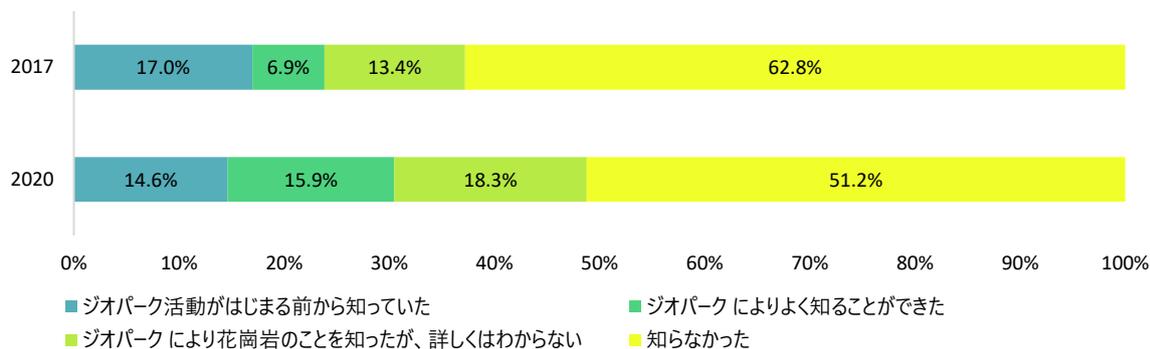


#### その他の意見

- ・ ジオパークの応援歌

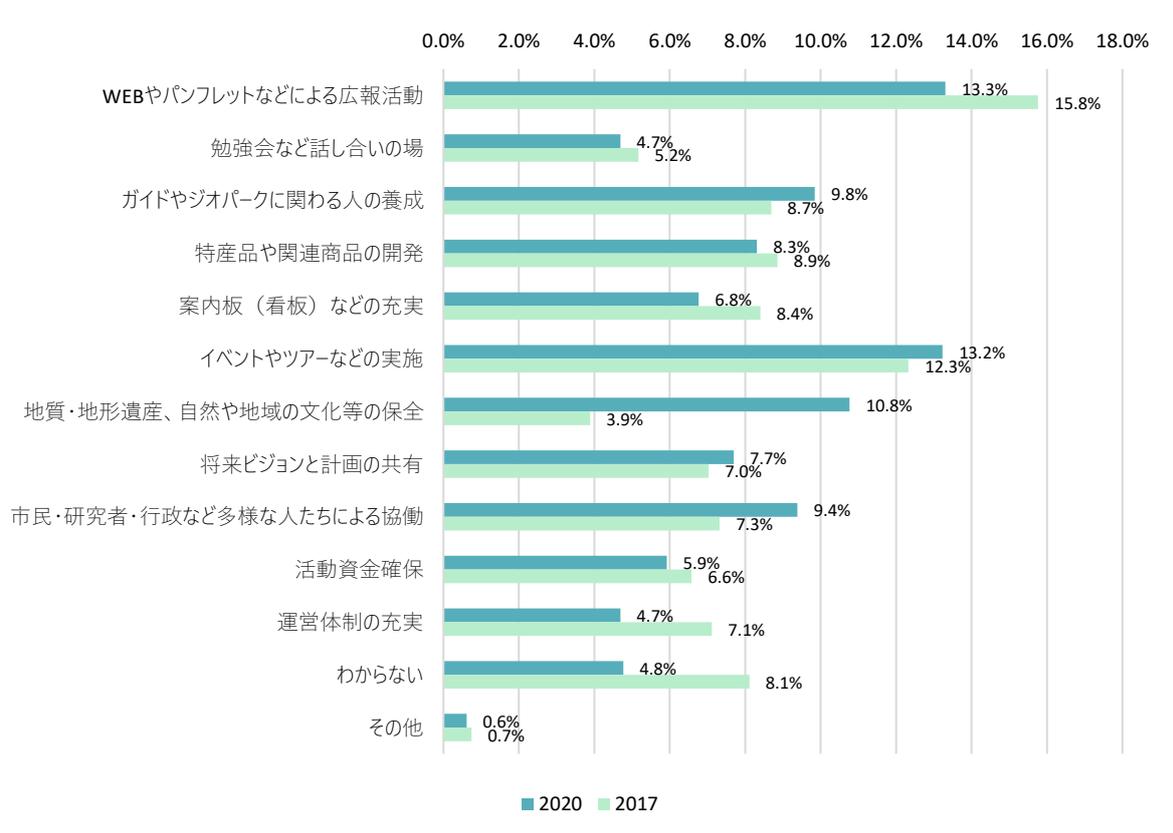
▼「景観や自然環境」「民俗や歴史」「地域産業」「食などの特産物」「文化や芸術」「地域に暮らす人たち」「教育活動」の割合が増えている。「地質や地形」「観光の振興」の割合が減っており、これまで「地質や地形を活かした観光振興」といった側面のみで捉えられていたジオパークのイメージが、多様なものになり、ジオパークの本質的な部分が理解されてきていると考えられる。

5. 土佐清水の特徴的な地質の一つに、足摺岬の花崗岩があります。地下深くで冷えたマグマのかたまりが、長い時間をかけて地上に露出したものですが、あなたはそのことを知っていましたか。



▼「ジオパークによりよく知ることができた」「ジオパークにより知ったが、詳しくはわからない」という項目が 34.2%（前回比：+13.9pt）となっており、ジオパークにより土佐清水の地質的な価値への理解が少しずつ広まっていることが伺える。

6. あなたは、土佐清水がジオパークを目指す上で、どんな取り組みが大切だと思いますか。



その他の意見

- ・ 諦める勇気を知ること
- ・ 視点の共有と対話
- ・ 目指さなくても活動を継続すればそれが地域振興なのでは
- ・ 市民一人一人にとってどういうメリットがあるのかを周知する。
- ・ 地質の専門家が地域で長く活動し、行政や市民と連携してまちづくりを進めること
- ・ ゴミひろいとか

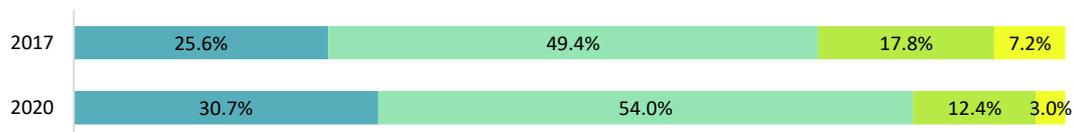
- 魅力を最大限に発揮させる

▼「地質・地形遺産、自然や地域の文化等の保全」が 10.8%（前回比：6.9pt）と増えており、保全に関する意識の高まりがうかがえる。また、「わからない」という回答は減っている。

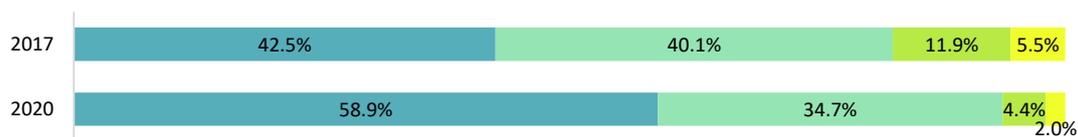
## 7. あなたは、ジオパークによる以下のような効果にどの程度期待しますか。

■ 大いに期待する     
 ■ やや期待する     
 ■ あまり期待しない     
 ■ 全く期待しない

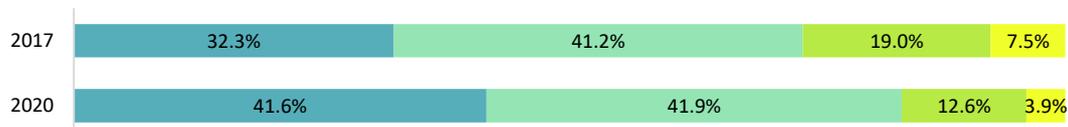
### ① 観光振興



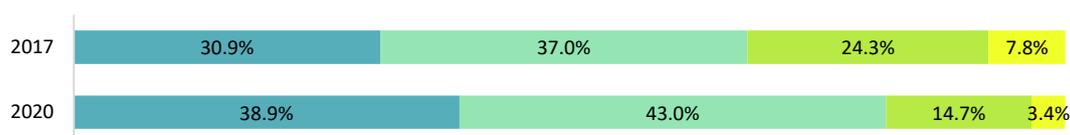
### ② 自然環境の保全



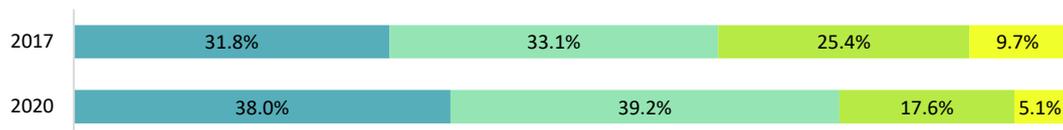
### ③ 土佐清水の認知度向上



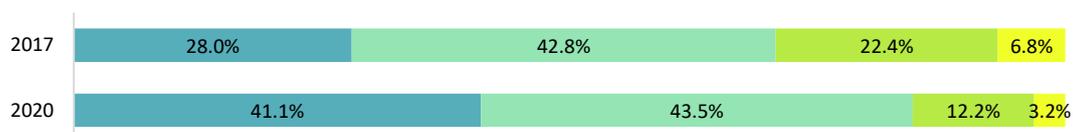
### ④ 地元愛を持つ人材の増加



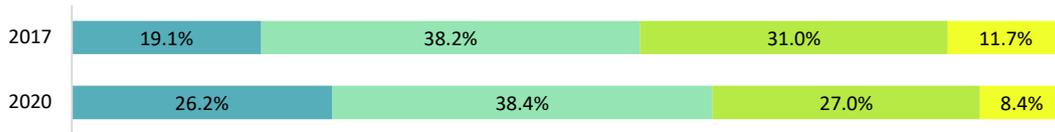
### ⑤ 防災・減災意識の向上



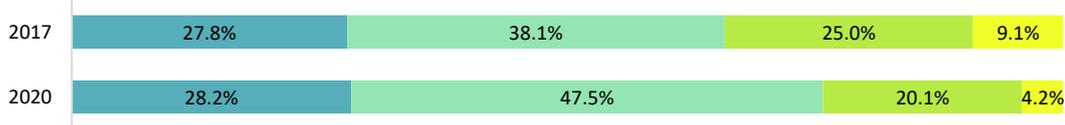
### ⑥ 伝統文化の継承



### ⑦移住の促進



### ⑧一次産業の活性化



### ⑨教育機会の充実



### ⑩住民参加のまちづくり



▼全ての質問において「大いに期待する」「やや期待する」の割合が増えている。「自然環境の保全」が最も多く期待する人の割合が93.6%となっている。そのほか、「観光振興」「伝統文化の継承」「土佐清水の認知度向上」「教育機会の充実」「自然環境の保全」「地元愛を持つ人材の増加」の質問で期待する人の割合が80%以上となっている。

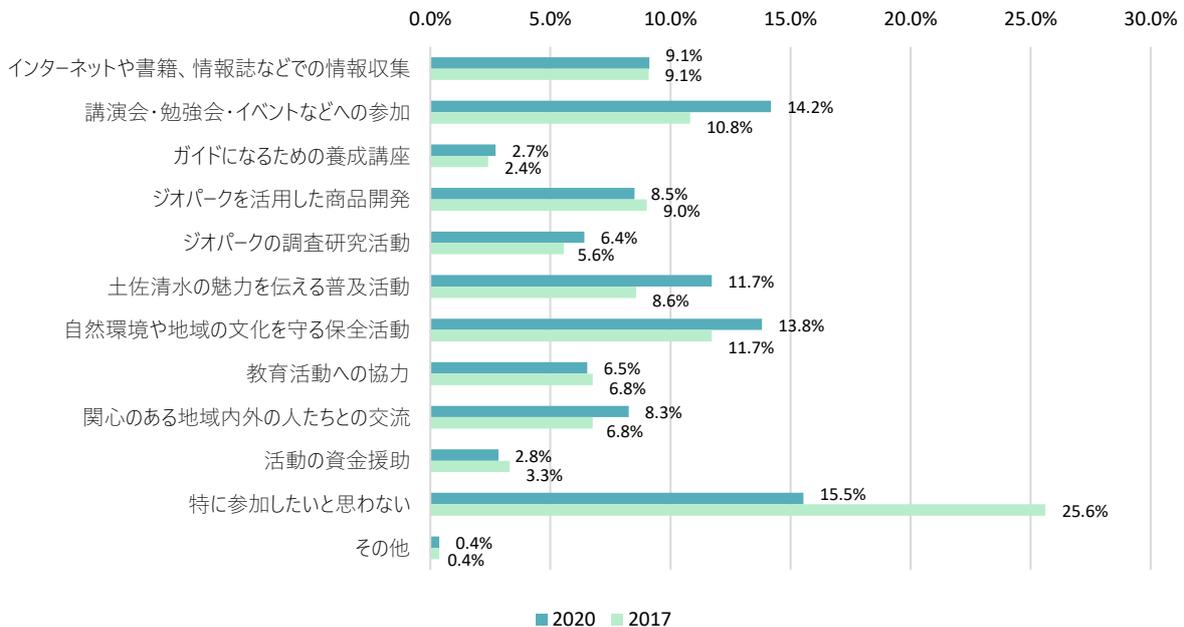
## 8. 土佐清水ならではの場所や地域の資源、食や祭り、産業など、広くアピールしたいものをお書きください。

食・産品・産業	73	清水さば(17), 魚(12), 宗田節(10), 食(5), カツオ(4), ペラ焼き(3), 海の幸(2), 魚飯(2), めじか, めじかの生節, めじかのすり身, ハガツオ, スマ, お好み焼き, 亀おこし, いもち, 食文化, 寿司文化, 一次産業, 窪津の大敷, 漁業, 農業, 観光業
景勝地・施設	47	SATOUMI(9), 竜串(8), 唐人駄場(6), 足摺岬(5), 臼碯(4), 大岐の浜(3), 見残し(2), 松尾, 石抱きアコウ, 青の洞窟, 桜浜, 海のギャラリー, 鶴ノ岬の展望台, キャンプ場, 海底館, デジターセンター, 観光地
自然	44	自然(17), 海(12), 星空(3), 海岸(2), 川(2), 山(2), 森, 地形, 駄場, 海岸沿い, アコウの木, ツバキ,
イベント	41	あしずり祭(28), 産業祭(7), 花火(4), ジョン万祭り, 清水さばのイベント
歴史・文化・祭り	9	祭り(6), 太刀踊り(2), 夏祭り(2), 唐人駄場遺跡(2), 斧積の盆踊り, 舟唄, 市指定文化財, 古道, 言い伝え, 人, 真念庵, 旧遍路道, 文化, 足摺七不思議, ジョン万
その他		森林との共生(海とのつながりも含む)、気候にめぐまれた農業の歴史、ヤブツバキ油の食用化
長文の意見 (一部抜粋)		<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模の林業に従事する人材を育成し、薪や炭づくりをはじめとした里山文化を再構築し、さらには節納屋や温浴施設への燃料供給による地産地焼の確立、木材加工・特用林産物生産と体験メニュー構築による観光業との連携を通じた、持続性と循環性ある仕組みづくりのもと、資源保全もしっかり行う事が、そのまま海域保全にもなり、ジオパーク活動そのものになっていくと思います。</li> <li>メジカ節、魚飯、寿司文化など大事に継承して未来に残し、地域の誇りにしてほしい。</li> </ul>

- 
- ・ 風土。人と大地の関係を深く知りたい
  - ・ 唐人駄馬遺跡が好きな場所ですが、あそこが縄文（～弥生）遺跡だと知ってる方は少ないのではと思います。発掘された石製品もほとんど清水にありませんし、小さくてもいいので唐人駄馬遺跡近くに資料館などがあればいいのにとずっと思っています。
  - ・ 食は本当に魅力的なので、地元の味の継承などに力を入れてみてはどうか。
  - ・ 地域の資源を活用した商品の開発（地域の食材や伝統工芸等）
  - ・ 昔、各地区でお祭りの際に行われていた太刀踊り。自分がかつて住んでいた地区では、地区のお年寄りが保育園で教えてくれて、お祭りの場での発表があり、子供ながらに楽しかった記憶があります。そうやって地区のことに誇りを持てれば良いのではないかと考えます。
  - ・ 土佐清水のジオを地質のみでなく、歴史や地質をストーリーにすると良いのでは。古道やお祭りなど全ての街があるように歴史や文化を感じるようにしてほしい。（原点に帰るべきではないか）
  - ・ 自然の豊かさや共生する人の営みを体感出来るイベントや体験。それら情報発信や受け入れ体制の確立。同じ事を企画しても、センスの有る無しで結果は大違い。
  - ・ 石抱きアコウを含めた、松尾観光の強化。青の洞窟や竜宮神社をもっとアピールしたら良いと思う。
  - ・ 海のギャラリー、鵜ノ岬の展望台、津呂など駄場と呼ばれるところ。どこもとても気持ちの良い場所です。ジオパークを通じて気持ちの良い場所を増やし、景観を守ってってもらいたいです。
  - ・ もっと第一次産業に特化させるべきだと思う。自然に恵まれた清水の特色を活かさないのはもったいなさすぎる。
  - ・ 漁業、観光業（砂浜の近くにシャワーなどの水道設備が整っているが、それらの水道料金は税金で負担していると聞いているので、観光客からお金を取るようにしてほしいです。）
- 

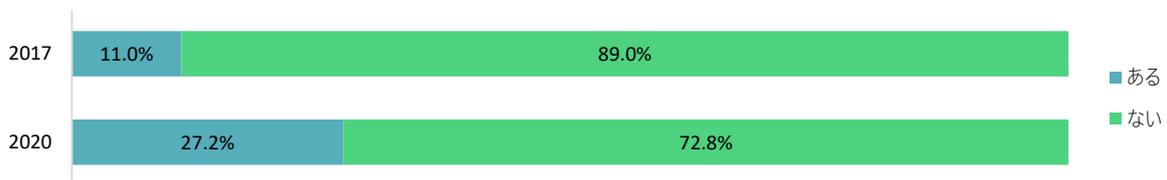
▼清水さばや宗田節等の海の恵みを活かした特産品をあげる回答が多かった。また、16歳以上の回答者では、自然や景観、伝統文化等多様な地域資源をあげる人が多く、中学生では、足摺祭りや SATOUMI といった回答が特筆して多く、多様な意見が少なかった。子どもの頃から多様な地域資源の価値をジオパークを通じて伝えていく必要がある。

9. あなたは、土佐清水ジオパーク構想に関して、どのような活動に参加したいと思いますか。



▼「特に参加したいと思わない」という回答が前回より 10pt 減少しており、ジオパークに対し何かしらの活動をしたいと思う人が増えてきている。

10-1. あなたは、これまでにジオパークの講演会やイベントなどに参加したことがありますか。



▼参加したことがある人の割合は 11pt 増えていたが、まだ 27.7%にとどまっている。そのため、様々な人が参加できる多様なイベントや啓発活動を行うとともに、ジオパークでやっているということを広くアピール必要がある。

10-2. 10-1 で「ある」と答えられた方で、イベントや活動等で印象に残っているものがあればご記入ください。

イベント・活動等

柚洞さんの講演会、ウミガメ、ジオガイド養成講座、市役所での会議、土佐清水の成り立ち、ワークショップでの地域自慢、黒田郡伝承（石柱群を覗いてみよう）、足摺岬ツバキ保全活動、地層、勉強会、松尾での FW、大学の先生の講演、地域の清掃活動と環境活動、清水さばのガイドツアー、作って食べる食堂、竜串散策、まち歩き、三崎方面での津波の石碑等、化石博士になろう、学校での学習

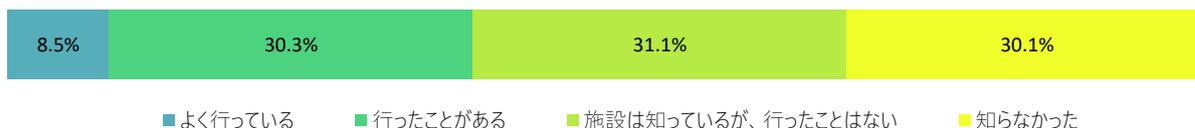
感想

- ・身近でこんなに自然について学べる所があったということに感動しました。
- ・地層について詳しくわかりやすく教えてもらった。

- ・ジオパーク認定には整った環境の維持が必要ということ。
- ・私がつくる土佐清水ジオパークという公開討論会のパネルディスカッションで清水に移住してきた漁師の方の話
- ・説明が難しい

▼具体的なイベント名を記載している回答は多くなかった。

## 11. あなたは、土佐清水ジオパーク構想の拠点施設「竜串ビジターセンターうみのわ」をご存じですか。



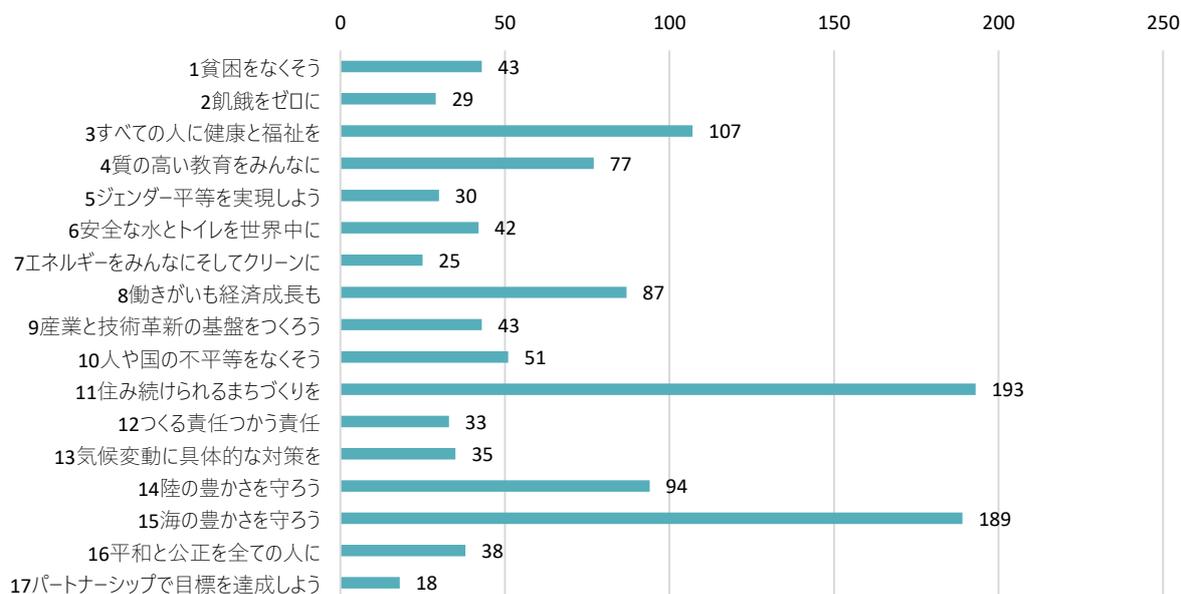
▼「よく知っている」「行ったことがある」という回答は 38.8%となっており、半数以上が来たことがないという結果となった。また、「知らなかった」という回答も 30%となっており、施設の周知や施設を活用した魅力的な企画を実施する必要がある。

### 12-1. 持続可能でよりよい世界を目指す国際的な目標として「持続可能な開発目標（SDGs）」があり、その推進のために下のようなロゴが使われています。SDGs について、知っていますか。



▼「知らなかった」という回答が半数以上にのぼっている。よく知っているという回答も 6.1%にとどまっているため、ジオパークを通じて SDGs の啓発をしていく必要がある。また、学生の回答でも SDGs の認知度は高くなく、今後、学校と連携してジオパーク学習の一環で SDGs の啓発に努める必要がある。

**12-2. SDGsには次の17の大きな目標があります。この中で土佐清水において優先的に取り組むべきと考えるものはどれですか。**



▼「11 住み続けられるまちづくりを（193件）」、「15 海の豊かさを守ろう（189件）」多く回答があげられた。

**12-3. SDGsに関することで土佐清水ジオパーク構想において特に期待する取り組みがあれば記載してください。**

回答一部抜粋

- ・ 土佐清水市でのSDGsの啓発及び推進をジオパークが進んでやるべきです。
- ・ 市民がより地元の風土や自然などに関心を持ち、土佐清水市の魅力を発見する（気づく）ことができれば良いと思います。
- ・ 土佐清水市という「まち」が将来的にも元気な「まち」でいられるためには、ある程度お金を稼げる仕事があること（産業）、こども・大人ともに優秀な人材を育てること（教育）
- ・ 質の高い教育活動に期待したい。土佐清水は都市圏から遠く離れていることから自然環境には恵まれている反面、科学や芸術、文化に触れる機会が少ない。ジオパーク活動を通して、様々なものに触れ、専門家から学び、異なる文化を持つ人々と交流することで人々の視野を広げることが、他の目標の達成を目指す上で必須になると考える。
- ・ 地球環境保護なかでも特に海洋の保全
- ・ 世界を変える
- ・ 今、どこの地域、国でも問題になっている地球温暖化が進んでいるので、それを防ぐために何をすべきかを考えてもらいたいです。

▼自然環境の保全や地球温暖化への取り組み等の意見も見られたが、教育や人材育成への期待のほか、土佐清水における人口問題や経済発展に関わる記述が多かった。

13-1. 右にあるのは、土佐清水ジオパーク構想のロゴマークです。  
このロゴマークについて知っていますか。



▼65.4%が「知っている」と回答しているが、「見たことはあるがジオパークのものだとは知らなかった」「見たこともない」という回答が 34.6%あった。

13-2. このロゴマークについて、意見や感想などがあればご記入ください。

肯定的な意見 60（一部抜粋）

- いいと思う（6）、清水のいいところが表現されている（8）、このままでいい（2）、ツバキがかわいい（2）
- ・ 魚と木、椿をいれていて自然の豊かさをアピールしているように見えていいと思う
  - ・ 清水のモチーフを椿にしたのはとても良いと思いました。
  - ・ 愛着が感じられる素晴らしいデザインです。
  - ・ 自然と町がバランスよく表されている。
  - ・ 優しい雰囲気が伝わります。
  - ・ 清水らしくていいと思う。
  - ・ オシャレだと思う
  - ・ 良い点としてはジオパークの中では個性的なデザインで埋没はしていない

周知不足等を指摘 5（一部抜粋）

- ・ ロゴマークは知っていましたが理念などは知らなかったため広報などもっと多くの人に知らせた方が良くと思います。
- ・ 最近はポロシャツの背中に印刷されているのを見ることが多いのでそのほかどんなところで使われているかわかりません。
- ・ 市民全員がこのマークを知ってほしいためにはもっとジオパーク構想の初心を忘れないようにしてほしい。
- ・ 活動不足→認知不足

印象に残らない or わかりにくいかも... 7（一部抜粋）

- ・ 少しわかりにくい
- ・ もうちょっとインパクトのあるものにしたいと思う
- ・ 土佐清水をもっと大きく前面に
- ・ 意味が分かればとてもいいものだと思うが土佐清水市のことを知らない人から見れば何故このようなマークなのか疑問を抱くと思う。あまり印象に残らない。
- ・ 何を描いているのかわからない。ポロシャツなどもあるがジオパークのものだとわからなかった。

変更を検討してみたい 9（一部抜粋）

- ・ 今のロゴは大活躍してきたが認定に向けて新しいロゴ(イメージ)を考えた方がいいかも
- ・ もうちょっとインパクトのあるものにしたいと思う。
- ・ 土佐清水をもっと大きく前面に
- ・ 第2モチーフを考えてみては？
- ・ 山も欲しいです！
- ・ 意味が分かればとてもいいものだと思うが土佐清水市のことを知らない人から見れば何故このようなマークなのか疑問を抱くと思う。あまり印象に残らない。
- ・ 今後、ジオパークとして高みを目指すのであればロゴマークを変更すべき

- ・ 土佐清水といたら、これ！みたいなものを入れる

#### ロゴマークとしての問題点を指摘 9（一部抜粋）

- ・ ロゴマークとして要素や色味が多くごちゃごちゃしていてロゴマークとして使いにくいと思います。またデザインが洗練されておらず、これがあることでフライヤーなどのデザインが中途半端なものになります。今後ジオパークとして高みを目指すのであればロゴマークを変更すべきだと思います。以下問題点を列挙します。

「縦横比がイレギュラーで収まりが悪い/要素が多い/フォントが垢抜けない/大地の要素がない/ごちゃごちゃしているため小さいデザインに対応できない/色味が多くモノクロへ対応できない/虹彩や手書き風の線が時代遅れの印象を与える」

ロゴマークはできるだけシンプルであるべきです。

- ・ 良くない点としては細々している上に色彩に重点が置かれたデザインのためロゴマークとしての使い勝手は良くなさそうな点。土佐清水の名物を並べてはいるがジオパークにおいて最も重要な「大地」に関するモチーフや考えをデザインの中に見出すことが難しい点などがある。
- ・ ごちゃごちゃしている。ジオパークなのに地質の要素がない。
- ・ ちょっと椿が目立ちすぎ。
- ・ インパクトに欠ける
- ・ 描きにくい
- ・ 白黒だと何がなんだか分からない。

▼清水のいいところが表現されている、親しみが感じられるといった肯定的な意見が多かった。特に10代の若い世代からは肯定的な回答が多く見受けられた。一方で、要素が多すぎることやロゴマークとしてのシンプルさや汎用性の低さ等のデザインに関する問題点を指摘する回答やロゴマークの変更を提案するものもいくつかあった。

## 14. 今後の「土佐清水ジオパーク構想」についてご意見・ご提案をご記入ください。

#### 頑張れ（一部抜粋）

- ・ 認定に向けて頑張りましょう。
- ・ お互いに頑張りましょう
- ・ ジオパーク側から入会を勧誘されるぐらいになるという気概でやって欲しい
- ・ ぜひ、頑張って認定をしてもらいたい。そのために、大きな取組を期待します。市民が参加できるような。
- ・ ジオパーク認定されるよう応援しています。
- ・ 精一杯やっている。市民の認知度を高める。
- ・ がんばれ
- ・ 頑張ってください！！僕たち学生も動きます！！
- ・ 今年こそジオパーク認定を
- ・ もっと有名になってくれることを待ってます。頑張ってください！！

#### 期待/活動に参加したい（一部抜粋）

- ・ やはり広く認知されることが重要だと思います。市民の方に親しみを持ってもらうために、楽しいイベントやPR（商品など）を期待しています。
- ・ 波及効果を期待しています。
- ・ 誰でも気軽にジオパーク活動に参加できるようになればいいと思う。
- ・ いいと思います！
- ・ 知識だけではなく、人と大地の関係がいろんなスケールで感じられる場所になったらいいなと思います
- ・ 日本ジオパークは、観光客が来てお金を落とし、事業者が儲け、環境保全に還元される、持続可能な循環が達成されて初めて認定されるということが分かりました。

- ・ 構想はとても良いと思いました。教育や観光などに生かす時、元の自然が壊される事の内容にしっかり土台作りをしてほしいです。
- ・ 社会全体を良くしてほしい。差別がないように。みんな仲良く。
- ・ 自然や町の事のために何か協力していきたいと思った。
- ・ 大人になったら参加よろしくをお願いします。
- ・ あまり参加したことがないので、自主的に参加したいです。

#### 課題（一部抜粋）

- ・ 竜串ビジターセンターの常設展示がイマイチです。特にプロジェクションマッピングなど。また、地区の公民館のような雰囲気なので、もう少し洗練された施設にしてほしいです。
- ・ 短期的なものでなく、継続的な活動を計画してほしい。そうすればもう少し期待できる。
- ・ 市役所に頼り過ぎない活動を
- ・ 構えほどは結果が出ていない。認定という結果を得るため、現在の取り組みを再検討し戦略を再構築した方がいい。
- ・ 一部の人だけが活動しているイメージ。もっと若い人を巻き込み新しい風を吹かせるべきだと思う。
- ・ "住民が自発的に協力するよう意識が変わらないといけないと思う。
- ・ 今まだ充分とはいえない。"
- ・ 市民もっと向き合してほしい。一方通行では、ジオパークとならないとの市民の声あり
- ・ もっと市内在住の市民に認知度向上の何らかの手を今以上にすべきと思います。
- ・ 住民にもっと浸透させるべき

#### 疑問や否定的な意見（一部抜粋）

- ・ メリットを感じない
- ・ ジオパークに認定されると、観光に対してどんなメリットがあるのか知りたい
- ・ 来年もしダメだった場合は、今後どうするんですか？
- ・ 現在どの段階で止まっているかもよくわかりません。広い情報発信と、せっかく SATOUMI が好調ですから竜串エリアでのイベントや取り組みに期待です。
- ・ 活動を継続するか断念するか、市内の意識調査をしてその結果を知りたいです。新型コロナ感染症のことも踏まえ、今一度、活動について本当に必要か・継続すべきものなのかを判断してほしいです。
- ・ わからない
- ・ ジオパーク認定は必要ないと思います。なぜならば、お金を使い続けているのに、認定の見込みはないし、市の財政も危機的なのに、そこにお金を使い続けるのは正直どうかと思う。

#### 提案（一部抜粋）

- ・ ブラタモリに来てもらう！
- ・ 清水の魅力を発展する。
- ・ 清水の自然が好きなのでそういう所でも有名になれたらいいなと思いました。
- ・ 小中高生と連携を取れば、活動に活気が出ると思います
- ・ 自然保護と清掃活動を増やす
- ・ 道端にあるゴミや草を綺麗にすることが大事
- ・ 地球の素晴らしさを感じる取り組みをどんどん進めていく。
- ・ コロナ禍で人を集めづらくなったが、Web 会議みたいなものが世の中で普通に使われ始めてきたこともあり、なかなか土佐清水市まで来れない人にも参加してもらえるように Web 会議のイベントをやっていて全国的な認知度を上げていったらよいのではと思う。土佐清水市に興味はあるけど世の中のコロナ禍の状況ではなかなか遊びに行けないあという層の人でも Web 会議形式のイベントなら気軽に参加できるし、そこで興味を持ってもらったらコロナ禍が落ち着いた時に実際に遊びに来てくれるのではと思います。
- ・ 現在の土佐清水の状況と推進体制では、ジオパークが掲げる理念や活動は僅かずつしか広がっていかないはずで経験している。学術、観光、広報・デザインなどについて専門性を持つ専任のスタッフが、土佐清水市民の一人

として後顧の憂いなくジオパーク活動に専念できる雇用形態（パーマネント採用やテニユアトラック制度の導入など）で採用し、長期的な計画をもって進める必要があるのではないか。

- ・ もっと PR をしたほうが良いのでは。
- ・ Q9 に関係すると思われるが、例えば、地質や民俗、歴史などそれぞれに関心のある小グループで調査研究ができる組織づくりを行政が手助けすることで、その活動が土佐清水市全体に広がっていくのではないかと。
- ・ ジオのラッピングバスでジオ巡りを
- ・ 各地域の清掃を行ってほしい
- ・ 行動にうつす
- ・ イベントなどもっとしてほしいです。
- ・ もう少し自分たちの住んでいる地域の自然や自然災害について対策をしてほしい
- ・ ロゴマークを変えた方がいいと思う。
- ・ 住民への理解を促し、まず、住民に「土佐清水ジオパーク」について知ってもらうようにした方がよい。他県の感心を引くために地域の代表となるようなものを考えると良い。
- ・ もっと一つ一つの取り組みなどに力を入れていくことから始めて、そのことをもっと地域の人たちにもインターネットだけでなく、他の方法で発信していくべきだと思います。

▼活動を応援するものやジオパークへの期待が込められているもの、新たな提案をする回答が多く見られた。また、ジオパークにおける課題を指摘するものや、否定的な意見もいくつかあった。そのため、現状について広く住民に発信し、丁寧な説明をしていくことが必要である。